

## 第4節 健康福祉課

### 〔総括概要〕

健康福祉課は、福祉・こども担当、介護高齢担当、健康増進担当で編成されている。

福祉・こども担当の主な分掌事務は、地域福祉に関すること、民生委員・児童委員に関すること、大平健康福祉センター等の施設の管理運営に関すること、障がい福祉に関すること、その他子育て支援に関することである。

施設管理運営事業では、効果的で効率的な施設管理と市民の健康及び福祉の充実に図るため、大平健康福祉センター（ゆうゆうプラザ）等について指定管理者による施設管理運営を行った。

こども関係については、昼間仕事等をしている保護者が、子どもを保育園や学童保育へ預けるための手続きの受理や子育てに関する支援を行った。放課後児童健全育成事業では、下校後、保護者の就労等により、家庭において監護が受けられない児童に対し、適切な生活の場及び遊びを提供することにより、児童の健全育成を図った。母子及び父子並びに寡婦福祉については、各種福祉サービスの情報提供や相談業務を通して、児童扶養手当の申請、諸届出の受付事務を行った。

介護高齢担当では、高齢者の生きがい推進として、敬老事業、高齢者ふれあい相談員事業等を実施した。高齢者福祉関係では、配食サービス事業、日常生活用具購入費助成等事業、介護手当支給及び紙おむつ購入費助成事業等の介護予防・生活支援事業を実施した。また、高齢者デイサービスセンター「まゆみ」について指定管理者による施設管理運営を行った。

介護保険関係では、要介護（要支援）認定申請及び介護給付に係る申請の相談や受付等を行い、介護を必要とする方や家族への支援を行った。

健康増進担当では、健康増進計画推進事業、母子保健事業、予防接種事業、健康診査事業、健康づくり事業、自殺予防対策事業を行った。

母子保健事業として、母親並びに乳幼児の健康保持増進を図るため、母子健康手帳の交付、妊婦一般健康診査、乳幼児健康診査、各種子育て教室や子育て相談、発達障がい等の早期発見・早期支援を目的とした乳幼児発達相談及び中学校と連携した性（生）教育を実施した。予防接種事業では、感染症のまん延防止のため、乳幼児等に対する各種予防接種、高齢者に対するインフルエンザ予防接種及び肺炎球菌ワクチン接種を実施した。健康診査事業では、健康診査、歯周疾患検診、骨粗しょう症検診及びがん検診等を実施した。また、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、衛生部門として、特定健康診査及び特定保健指導を行った。さらに、健康づくり事業では、生活習慣病予防の推進のため、栄養や運動等に関する相談・教育事業を、自殺予防対策事業ではこころの健康保持増進を図るため、こころの健康相談を実施した。

福祉・こども担当

### 1 民生委員児童委員関係

民生委員児童委員68人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、うち主任児童委員4人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

#### (1) 相談・指導状況 (単位：件)

地域福祉・在宅福祉	家族関係	住居	保健・医療・健康	仕事	生活費
52	10	1	107	5	5
年金・保険	非行・養護・健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
2	384	58	855	1,479	21.7

#### (2) 調査等状況 (単位：件)

調査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合・行事への参加	友愛訪問・安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
2,191	17	884	7,379	15,298	25,769	378.9

#### (3) ふれあい健康福祉まつりへの参加

民生委員児童委員及び主任児童委員が、地域でどのような役割を担い、日々活動しているかを多くの地域住民に知ってもらうため、PR活動を行うとともに、子どもの遊び場“キッズパーク”を開設し、児童健全育成事業を行った。

実施日 5月24日(日)

場 所 大平健康福祉センター

### 2 日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため災害救護を実施した。

#### (1) 日赤募金

目標額	実績額	達成率
3,129,000円	2,302,825円	73.6%

#### (2) 災害による救援品配付状況

区分	世帯数	人数	毛布	布団	日用品
火災	3世帯	7人	7枚	7組	4個

#### (3) 災害見舞金給付状況 (単位：件)

全焼件数	半焼件数	部分焼	部分損壊	火災死亡
2	—	—	—	—

### 3 施設管理運営状況

#### (1) 大平健康福祉センター「ゆうゆうプラザ」

大平健康福祉センター「ゆうゆうプラザ」の管理運営を、いすゞビルメンテナンス株式会社に委託(指定管理)し、実施した。

##### ア 利用状況

- ・年度別利用者数

区分	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	利用者数(人)	210,137	215,964	202,044

- ・開館日数 306日
- ・1日平均入場者 660.2人
- ・月別内訳

(単位：人)

区分 月別	風呂	トレーニングルーム	大会議室	小会議室	大・小会議室併用	研修室	多目的ホール	母子指導室	調理実習室	調理実習室併用	母子指導室・	総合計	開館日数(日)
4	13,785	3,045	407	237	448	230	702	310	149	-	-	19,313	26
5	13,778	3,195	284	170	651	313	611	364	138	154	-	19,658	27
6	12,622	3,229	383	164	928	223	766	226	91	-	-	18,632	25
7	13,340	3,354	431	205	1,267	409	999	164	182	-	-	20,351	27
8	12,951	2,923	371	146	1,578	558	1,300	368	361	-	-	20,556	26
9	10,140	2,813	246	173	1,028	424	726	169	161	-	-	15,880	24
10	13,805	3,258	365	206	889	388	1,343	19	367	-	-	20,640	27
11	6,388	2,641	151	152	1,172	312	1,089	360	178	-	-	12,443	25
12	12,350	2,914	388	139	1,140	251	883	401	125	-	-	18,591	25
1	12,417	2,767	432	105	660	280	984	272	91	-	-	18,008	24
2	6,589	2,563	276	161	1,019	263	1,009	203	389	-	-	12,472	23
3	227	2,599	410	118	879	354	634	182	97	-	-	5,500	27
合計	128,392	35,301	4,144	1,976	11,659	4,005	11,046	3,038	2,329	154	-	202,044	306

イ 事業実施状況（指定管理者による自主事業）

(ア) 歌謡ショー

アマチュア歌手を中心とした歌謡ショー

- ・開催回数 12回
- ・観覧者延べ人数 1,001人

(イ) 芸能・舞踊

ジャズ演奏、民謡や舞踊の伝統芸能ショー

- ・開催回数 15回
- ・観覧者延べ人数 785人

(ウ) カラオケ等

大広間での開催のカラオケ大会

- ・開催回数 2回
- ・観覧者延べ人数 245人

(エ) 芝居

劇団による芝居及び舞踊ショー

- ・開催回数 3回
- ・観覧者延べ人数 260人

(2) 大平地域福祉センター「ふるさとふれあい館」

ア 利用状況

- ・年度別利用者数

年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
利用者数(人)	18,264	17,979	17,353

- ・開館日数 318日
- ・1日平均入場者 54.5人
- ・月別内訳

(単位：人)

区分	研修室	和室	ルーム ボラン ティア	陶芸室	木工室	学習室	ロビー・ 応接室	総合計	開館日数 (日)
4	604	395	126	154	12	144	12	1,447	27
5	567	265	111	68	-	115	2,206	3,332	25
6	624	315	94	111	13	136	70	1,363	28
7	720	386	125	86	18	138	83	1,556	28
8	514	303	88	65	-	126	134	1,230	29
9	380	320	96	121	6	139	103	1,165	25
10	608	393	90	120	7	164	117	1,499	28
11	559	315	102	98	16	125	62	1,277	26
12	417	274	90	85	18	129	59	1,072	24
1	504	297	85	5	15	130	65	1,101	24
2	527	265	62	43	7	144	59	1,107	26
3	465	329	100	108	18	168	16	1,204	28
合計	6,489	3,857	1,169	1,064	130	1,658	2,986	17,353	318

イ 事業実施状況（指定管理者による自主事業）

ふるさとふれあい館のロビーと通路で、毎月、利用団体の作品の展示を行い、活動の活性化を図った。また、下記の通り自主事業を実施した。

(ア) おもてなし親子茶の湯体験

- ・お茶の飲み方や立て方、飲み方や礼儀作法の体験
- ・参加者 22人

- (イ) 手話で遊ぼう
  - ・簡単な手話であいさつや歌、指文字などを通して聴覚障がい者とのコミュニケーションの方法を学ぶ
  - ・参加者 32人
- (ロ) 福祉体験や災害学習事業の開催
  - ・点字や手話体験、認知症、災害についての体験学習
  - ・埼玉県防災館の見学
  - ・参加者 66人
- (エ) 講演会「認知症を生きる」
  - ・認知症を疾患として正しく理解し、認知症の方とその家族に対して地域で自分たちが出来ることを考えるきっかけづくりを目的として開催
  - ・参加者 82人

#### 4 地域活動支援センター事業

障害者自立支援法に基づき、障がい者に対し創造的活動や生産活動の機会を提供し、社会参加や交流の促進を図るため、大平地域活動支援センターの管理運営を社会福祉法人すぎのこ会に委託（指定管理）し、通所事業を実施した。

- ・施設名 大平地域活動支援センター
- ・所在地 大平町真弓1396
- ・開所日数 245日
- ・通所延べ人員 1,368人

#### 5 身体障がい者の現況（身体障害者手帳交付状況） （単位：人）

障がい区分	手帳所持者数	平成27年度中交付者数
視覚障がい	40	1
聴覚・平衡障がい	167	7
音声・言語・そしゃく障がい	10	1
肢体不自由障がい	485	13
内部障がい	279	25
複合障がい	25	1
合計	1,006	48

#### 6 知的障がい者（児）の現況（療育手帳交付者数） （単位：人）

区分	障がい児（18歳未満）		障がい者		合計
	男	女	男	女	
重度（A1・A2）	10	5	34	39	88
中度（B1）	10	3	34	26	73
軽度（B2）	13	14	26	18	71
合計	33	22	94	83	232

## 7 精神障がい者福祉関係

### (1) 精神障がい者の現況(精神障害者保健福祉手帳交付者数)

区 分	交付者数(人)	比 率(%)
1 級	22	19.6
2 級	71	63.4
3 級	19	17.0
合 計	112	100.0

### (2) 自立支援医療費(精神通院)

精神科外来を受診する際に自己負担金が軽減される制度で、236人が受給した。

## 8 身体障がい者(児)の補装具等の交付状況

### (1) 身体障がい者(児)の補装具交付及び修理 (単位:件)

区 分		身体障がい者			身体障がい児		
		交付	修理	合計	交付	修理	合計
義肢	義手	-	-	-	-	-	-
	義足	1	4	5	-	-	-
装具	下肢	7	1	8	1	-	1
	靴型	3	-	3	-	-	-
	体幹	-	-	-	-	-	-
	上肢	-	-	-	-	-	-
座位保持装置		2	4	6	-	2	2
盲人安全つえ		1	-	1	-	-	-
義眼		-	-	-	-	-	-
眼鏡	矯正眼鏡	-	-	-	-	-	-
	遮光眼鏡	1	-	1	-	-	-
	弱視眼鏡	-	-	-	-	-	-
補聴器	高度難聴用ポケット型	1	1	2	-	-	-
	高度難聴用耳掛け型	11	10	21	1	-	1
	重度難聴用ポケット型	1	-	1	-	-	-
	重度難聴用耳掛け型	5	3	8	-	-	-
車いす	普通型	2	3	5	-	1	1
	その他	1	-	1	-	1	1
電動車いす		-	-	-	-	-	-
起立保持具		-	-	-	-	-	-
座位保持いす		-	-	-	-	-	-
歩行器		-	-	-	-	-	-
歩行補助つえ		1	-	1	-	-	-

重度障がい者用意思伝達装置	-	-	-	-	-	-
特 例 補 装 具	-	-	-	-	-	-
合 計	37	26	63	2	4	6

(2) 身体障がい者（児）の日常生活用具の給付 (単位：件)

区 分	身体障がい者	身体障がい児
特 殊 寝 台	1	-
特 殊 マ ッ ト	-	-
特 殊 尿 器	-	-
入 浴 担 架	-	-
体 位 変 換 器	-	-
移 動 用 リ フ ト	-	-
訓 練 い す ( 児 の み )	-	-
訓 練 用 ベ ッ ド ( 児 の み )	-	-
入 浴 補 助 用 具	-	-
腰 掛 便 座	-	-
洗 浄 機 能 付 便 座	-	-
歩 行 支 持 用 具	-	1
T 字 状 ・ 棒 状 の つ え	1	-
頭 部 保 護 帽	-	-
火 災 警 報 器	-	-
自 動 消 火 器	-	-
電 磁 調 理 器	-	-
歩行時間延長信号機用小型送信機	-	-
聴覚障がい者用屋内信号装置	-	-
透 析 液 加 温 器	-	-
ネ ブ ラ イ ザ ー	-	-
電 気 式 た ん 吸 引 器	1	-
酸 素 ボ ン ベ 運 搬 車	-	-
盲人用体温計（音声式）	-	-
盲 人 用 体 重 計	-	-
携 帯 用 会 話 補 助 装 置	-	-
点 字 デ ィ ス プ レ イ	-	-
点 字 器	-	-
点 字 タ イ プ ラ イ タ ー	-	-

視覚障がい者用ポータブルレコーダー	1	-
視覚障がい者用活字文書読上げ装置	-	-
視覚障がい者用拡大読書器	1	-
盲人用時計	-	-
聴覚障がい者用通信装置	-	-
聴覚障がい者用情報受信装置	-	-
人工喉頭	-	-
点字図書	-	-
情報・通信支援用具	-	-
ストマ用装具（蓄便袋）	-	-
ストマ用装具（蓄尿袋）	-	-
紙おむつ	-	-
収尿器	-	-
居宅生活動作補助用具	-	-
パルスオキシメーター	-	-
車いす（小児慢性特定疾患児）	-	-
クールベスト	-	-
紫外線カットクリーム	-	-
床ずれ防止用具	1	-
昇降機能付便座	-	-
透析液加湿器	-	-
盲人用テープレコーダー	-	-
歩行補助つえ	-	-
特殊便器	-	-
折りたたみ杖	-	-
ワードプロセッサ	-	-
便器	-	-
移動用リフトスリングシート	-	1
合計	6	2

9 身体障がい者の自立支援医療（更生医療）給付決定の状況

（単位：人）

種 別	給付決定者数
視 覚 障 が い	-

聴覚・平衡機能障がい	-
音声・言語・そしゃく機能障がい	-
免疫機能障がい	-
肢体不自由	-
心臓機能障がい	5
腎臓機能障がい	59
合計	64

#### 10 自立支援医療（育成医療）

18歳未満の児童で治療を行わないと障害が残ると認められる者の保護者に対し、治療費の自己負担金を軽減する制度で、10人が受給した。

#### 11 各種手当の状況

（単位：人）

種 別		給付決定者数
特定疾患者介護手当		26
重度心身障がい児扶養手当		4
特別障がい者 等手当	特別障がい者手当	1
	障がい児福祉手当	1
	福祉手当（経過的）	-
特別児童扶養手当		3

#### 12 身体障がい者体力増進事業

障がい者と健常者の交流事業として、若葉OHIRAウォークラリーのつどいを実施した。

- ・実施日 5月30日（土）
- ・場 所 大平健康福祉センター周辺
- ・参加者 119人

#### 13 福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」を交付しタクシー料金を助成した。

（単位：人）

区 分	交 付 者 数
高齢者（80歳以上）	241
高齢者（65～79歳）	70
障がい者	101

合 計	412
-----	-----

#### 14 放課後児童健全育成事業

下校後、保護者の就労等により家庭において、保護指導を十分に受けることができない児童を対象に、健全な余暇利用の機会を与え、集団生活を通し社会性を養うことを目的とした学童保育利用の相談・申請受付事務を行った。

(大平地域4小学校区内・7学童保育)

#### 15 児童手当

次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを応援するという趣旨のもと、子どもを養育する保護者に対し、児童手当の相談・申請受付事務を行った。

・児童手当受付件数 432件

#### 16 赤ちゃん誕生祝金事業

赤ちゃんの出産を奨励し、健やかな成長を願い、少子化並びに子育て支援対策に資することを目的に、誕生祝金の申請受付事務を行った。

事業名	祝金額	受付件数(件)
赤ちゃん誕生祝金事業	第二子 10,000円	113
	第三子以降 20,000円	

#### 17 児童扶養手当・遺児手当

父母の離婚や死亡等により、父または母と生計を同じくしていない児童や、父または母が重度の障害の状態にある児童について、心身ともに健やかに育成されることを目的に児童扶養手当や遺児手当の申請受付事務を行った。

(単位：件)

種別	受付件数
児童扶養手当	58
遺児手当	—

### 介護高齢担当

#### 1 高齢者人口・生活態様別統計

##### (1) 高齢者人口 (大平地域 4月1日現在)

区分	年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	総人口 (人)		29,633	29,896
65歳以上人口 (人)		6,632	6,997	7,350
総人口に対する割合 (%)		22.38	23.40	24.40

## (2) 高齢者生活態様

(5～6月調査結果)

高齢者人口		人数(人)	比率(%)
総数		7,350	100
内 訳	独居	657	8.9
	高齢者世帯※ (世帯数)	1,834 (903)	25.0
	その他	4,859	66.1

※ 65歳以上のみで構成される世帯

## 2 敬老祝賀事業

9月1日(基準日)において、本市に引き続き1年以上居住し、当該年度に85歳、90歳、95歳、100歳、101歳以上の誕生日を迎える高齢者の方に長寿を祝して敬老の日に合わせ敬老祝金を贈呈した。

95歳以下の方への配付は、民生委員の協力を得た。100歳の方については、市長が慶賀訪問した。

区分	支給額(円)	対象人数(人)
85歳	10,000	146
90歳	20,000	104
95歳	30,000	26
100歳	100,000	7
101歳以上	50,000	16

## 3 敬老会事業

敬老会事業を実施した自治会等に対し、その地域に在住の80歳以上の高齢者数に1,000円を乗じた額の補助金を交付した。

- ・補助金交付自治会等 49自治会等
- ・補助額 1,959,000円 ※本庁高齢福祉課予算

## 4 とちぎ蔵の街シニアクラブ活動支援事業

とちぎ蔵の街シニアクラブ大平支部の活動及び単位老人クラブの社会奉仕活動、生きがい活動、健康づくり活動等の充実のため、支援を行った。

- ・単位老人クラブ数 27クラブ
- ・とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会大平支部会員数 1,057人
- ・助成額 単位老人クラブ活動助成金 1,237,000円 ※本庁高齢福祉課予算

## 5 高齢者配食サービス事業

在宅で生活するひとり暮らし等の高齢者に対し、健康保持と福祉の増進を図るため、

昼食弁当（1食 300円）を宅配し、併せて安否確認も行った。

- ・対象者 65歳以上の一人暮らし世帯または高齢者世帯、これに準ずる世帯で調理困難な方
- ・宅配個数 6,525個
- ・宅配人数 63人（実人数）
- ・宅配業者 このひら配食サービス 沼和田町 13-3  
 （株）金時給食センター 柳橋町 6-29  
 新味紀行（株） 大平町西水代 2953-2  
 （株）サンマート 栃木市祝町 4-28

#### 6 高齢者ふれあい相談員事業

在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯に対し、家庭訪問を通して、時の話題を提供しながら、安否の確認、相談等を行った。

- ・相談員数 128人
- ・訪問世帯数 927世帯

#### 7 日常生活用具購入費助成事業

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活用具の購入費助成を行った。

- ・日常生活用具購入費助成状況 (単位：件)

品 目	件 数
老人福祉車	37
小型暖房器具	16
電磁調理器	-
火災警報器	-
自動消火器	-

#### 8 日常生活用具レンタル料助成事業

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活用具のレンタル料の一部を助成した。

- ・日常生活用具レンタル料助成状況 (単位：件)

品 目	件 数
電動小型吸引機	6
特殊寝台	3
じょく瘡予防用具	-

#### 9 緊急通報装置設置事業

ひとり暮らしの高齢者及び身体障がい者宅に緊急通報装置を設置し、急病や災害等の緊急時に備えた。

・設置状況

(単位：台)

既設置台数	27年度設置台数	27年度撤去台数	計
100	11	14	97

10 在宅ねたきり老人等介護手当支給事業

市内に住所を有し、要介護認定3・4・5のいずれかに認定された高齢者と同居し、常時介護している方に対し、介護者の慰労及び在宅福祉の向上を目的として、月額3,000円の介護手当を支給した。

・在宅ねたきり老人等介護手当支給者数(延べ人数)

(単位：人)

上半期支給者数	下半期支給者数	合計
116	141	257

11 紙おむつ購入助成事業

市内に住所を有し、要介護認定3・4・5のいずれかに認定された方で、日常生活において、常時紙おむつが必要な方に対し、月額3,500円の紙おむつ購入費を助成した。

・紙おむつ購入費助成支給者数(延べ人数)

(単位：人)

上半期支給者数	下半期支給者数	合計
130	163	293

12 介護予防・生活支援事業

介護予防や生活支援の必要な在宅のひとり暮らし高齢者等に、在宅生活での自立を目的とした事業を実施した。

(1) 緊急ホームヘルパー派遣事業

- ・利用者数 1人
- ・延べ回数 1回(1.2時間)

(2) 軽度生活援助員派遣事業

- ・利用者数 17人
- ・延べ利用時間数

(単位：時間)

家事	324
除草	180
植木手入れ	47
大工	6

13 大平高齢者デイサービスセンター「まゆみ」

大平高齢者デイサービスセンター「まゆみ」の管理運営を、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会に委託(指定管理)し、実施した。

(1) 利用状況

- ・年度別利用者数

区分 \ 年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
利用者数(人)	9,604	9,710	9,073

・ 開館日数 294日

・ 1日平均入場者 30.9人

・ 月別内訳 (単位：人)

区分 \ 月別	延べ利用人数	利用実人数
4	778	79
5	715	75
6	790	73
7	824	76
8	812	76
9	709	75
10	766	75
11	729	75
12	733	72
1	718	72
2	731	73
3	768	71
合計	9,073	892

(2) 事業実施状況 (指定管理者による自主事業)

区 分	事 業
介護予防及び介護関係	(1) 筋力アップ訓練事業 (2) 口腔衛生事業 (3) 認知症予防事業 (4) 健康増進事業
通所施設関係	(1) カラオケ (2) 紙芝居や演芸などの鑑賞
年間事業	(1) 花見 (2) 手打ちそば会 (年3回) (3) 七夕会 (4) かき氷 (5) 敬老の日 (6) クリスマス会 (7) 豆まき会 (8) 利用者の誕生日会

	(9) フォークダンス (10) ひな祭り
その他	(1) 施設を開放し、見学会を開催 (2) シルバー大学OBによるレクリエーション ボランティアの受入れ（10回開催）

#### 14 介護保険業務各種受理状況

介護関係の各種申請受付等を実施した。

（要介護（要支援）認定申請数は本庁高齢課で一括計上）

#### 15 健康はり、きゅう及びあん摩マッサージ指圧施術料助成事業

高齢者の健康保持や健康寿命延伸を目的に、はり、きゅう、あん摩マッサージ指圧施術料助成券を配付し、施術料の一部について助成した。

- ・事業対象者 市内在住で満75歳以上の方
- ・助成券概要 6枚綴、1枚につき800円の助成
- ・配付実績 64冊
- ・利用実績 213枚

### 健康増進担当

#### 1 健康増進計画推進事業

6つの重点領域（①栄養・食生活②身体活動・運動③喫煙④こころの健康⑤歯と口の健康⑥健康診査・検診）ごとに、ライフステージ別、関係機関別に取り組みを行い、関係機関と連携し健康づくりを推進した。

主な取組

- ・健康まつり等における健康情報の提供
- ・各種健診・教室等において、食・運動に関する知識の普及啓発
- ・検診結果等に基づいた健康教室の開催
- ・こころの健康相談の開催や乳幼児健診時にこころの相談を実施
- ・絵本の読み聞かせ事業の推進
- ・学校との連携の下、思春期講演会や喫煙防止教室の開催
- ・集団健康診査時を利用し、当日会場において個別相談を実施
- ・歯の健康に関する普及啓発（幼児健診、健康まつりなど）
- ・食生活改善推進団体協議会との共催による栄養教室の開催及び協議会の育成

#### 2 母子保健事業

##### (1) 妊娠届出の受理及び母子健康手帳の交付

母子保健法に基づき、妊娠届出の受理を行った。また、妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理に役立てるためのものとして、妊娠の届出をした方等に対し母子健康手帳を交付した。その際、妊娠・出産についてのアンケート

ート及び個別面談を実施し、妊婦の状態把握に努めるとともに、必要に応じて相談対応を行うことにより、安心して出産を迎えられるよう支援した。

・受理及び交付状況（大平地域分）（単位：人）

妊娠届出数	母子健康手帳交付数		
	妊娠届出	双胎	紛失等
220	233	220	11

(2) 健康診査

ア 妊婦健康診査（各総合支所分を含む・旧岩舟町分は除く）

妊婦の健康診査の一層の徹底と経済的支援を図るため、1人につき14回の受診票を交付し、妊婦の健康管理の向上を図った。（母子健康手帳交付時に受診券を配付、医療機関に委託して実施）

・受診状況（単位：人）

回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	
受診者数	1,095	1,091	1,057	1,059	1,032	1,019	1,007	
回数	8回目	9回目	10回目	11回目	12回目	13回目	14回目	計
受診者数	1,010	965	892	955	738	500	273	12,693

イ 妊婦歯科健康診査（各総合支所分を含む）

妊婦を対象に口腔衛生の向上を目的とし、市内の歯科医院において、歯科健康診査及び保健指導を行った。

対象数（人）	受診者数（人）	受診率（％）
1,184	404	34.1

ウ 乳幼児健康診査

乳幼児の育児支援と疾病の早期発見を目的に、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導や親同士の交流により育児不安の軽減を図った。1歳6か月児や3歳児においては心理職を配置し、親子関係や発達障がい等の相談にも応じた。

・実施状況

区分	実施回数（回）	対象数（人）	受診数（人）	受診率（％）	要観察（人）	治療中（人）	要治療（人）	要精検（人）
乳児健康診査（4か月児）	12	261	257	98.5	33	39	2	6
乳児健康診査（9か月児）	12	240	232	96.7	20	19	1	15
1歳6か月児健康診査	12	241	232	96.3	54	13	2	12
3歳児健康診査	12	247	239	96.8	57	9	23	19

エ 2歳児歯科健康診査及び育児相談

う歯の早期発見と知識の普及を目的に、健康診査及び歯科衛生士によるブラッシング指導・フッ素ジェル体験を行った。また、保健師による育児上の育児相談を行った。

・歯科健康診査

実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	う歯のある児 (人)
6	228	204	89.5	10 (4.9%)

オ 乳幼児発達相談(二次健診)

乳幼児健康診査や相談、訪問等の保健指導において成長発達に遅れがあると疑われる児に対し、医師による診察や専門職による相談指導を行い、児の発達の促進と保護者への育児支援を行った。大平・藤岡・岩舟地域で合同開催し、大平会場で実施した。

開催回数 (回)	受診児数(人)			結果内訳(人)		
	初診	再診	計	今回のみ指導	経過観察	要治療・要精査
9	25	29	54	24	26	4

カ 乳児先天性股関節脱臼検診(各総合支所分を含む・旧岩舟町分は除く)

3~4か月児を対象に委託医療機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を目的に検診を行った。

対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	結果内訳(人)		
			異常なし	要経過観察	要治療
1,070	1,000	93.5	867	131	2

(3) 健康教育

ア 両親(母親)教室

妊婦と夫に対して、妊娠、分娩等の知識を提供し、お産のリハーサル、お風呂の入れ方、夫の妊婦擬似体験などの体験学習を行った。また、先輩ママやパパを招き、出産や育児の体験談を聞いたり乳児を身近に見たりすることにより、親になる自覚を促した。大平・藤岡・岩舟地域で合同開催し、大平会場で実施した。

・実施数 3回1コース(年4コース) (単位:人)

妊婦	夫	祖父母	先輩ママ	先輩パパ
129	63	3	16	—

イ 子育てサロン(子育て相談・離乳食教室)

子育て支援を推進する事業の一環として、子どもの発達に合わせた子育ての知識を提供するとともに、育児不安の相談や指導及び親子の交流を図ることを目的に実施した。

・実施回数 6回

・子育て相談 参加者延べ数 123組

・離乳食教室 参加者延べ数 89 組

ウ 健診事後教室(ちゃいちゃいぐるーぷ、ぺんぎんぐるーぷ)

幼児健康診査等で精神・言語発達面に遅れがある幼児や、子育てに不安を持つ保護者の中で継続支援が必要な親子を対象に、集団遊びや親同士の交流、個別相談を通して、より良い親子関係を築き、幼児の健全な心身の発達が図れるよう支援した。

大平・藤岡・岩舟地域で合同開催し、大平会場で実施した。

	対象月齢	回数(回)	参加者延べ数(組)
ちゃいちゃいぐるーぷ	3歳未満	12	82
ぺんぎんぐるーぷ	3歳～就学前	12	42

エ 思春期保健事業

命の大切さを知り、自尊感情・自己肯定感や自己決定能力を高めていくため、思春期講演会を大平地域内中学校(2校)と連携し行った。

対 象	参 加 人 数(人)	
大平中学校	生徒 237	保護者等 32
大平南中学校	生徒 338	保護者等 41
一般参加者	41	

オ だっこだっこ絵本事業

9か月児とその保護者を対象に、親子のふれあいを促進し、豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため、絵本の読み聞かせと絵本の配付を行った。

・実施回数 12回(9か月児健康診査終了後)

・参加者延べ数 232組

カ フッ素塗布事業

歯の衛生週間行事の一環として、歯質の強化とう歯予防への意識の高揚を図るため、下都賀歯科医師会と1市1町(栃木市・壬生町)との共催で小学1年生と年長児に対しフッ素塗布及び歯科医師による歯の健康相談を行った。(年1回)

・フッ素塗布者数 (単位:人)

小学1年生	年長児	合 計
49	41	90

キ よい歯のコンクール(数値は、本庁健康増進課で一括計上)

口腔衛生の普及及び向上を図るため、3歳児健康診査を受診した幼児とその親を対象にコンクール(3歳児の部、親と子の部)を実施し、歯及び口腔の優良な人を表彰した。また、全国で開催されるコンクールの1次審査を兼ねており、成績優秀者は、県南地区の2次審査に推薦した。

(4) 健康相談

ア 3か月児びよびよ相談

生後3か月児及びその保護者を対象に、育児について適切な相談・助言を行うことで育児不安を軽減し、よりよい親子関係を図る目的で実施した。また、子育てをする中での悩みを共有し合い、地域での仲間づくりへ支援を行った。大平・藤岡・岩

舟地域で合同開催し、大平会場で実施した。

- ・実施回数 12回
- ・参加者延べ数 241組

イ 5歳児発達相談

3歳児健康診査までに発見されにくい軽度の発達障がい等について、診断の有無に関わらず支援を行うとともに、構音障がいや肥満等への支援を目的に、年中児を対象に、市内幼稚園、保育園及び栃木保健福祉センターにおいて発達相談を実施した。

- ・実施状況

(単位：人)

受診数	結果内訳				
	異常なし	要観察	既医療・ 既療育	要精密検査	療育機関等 紹介
215	169	11	5	2	28

ウ 新生児・産婦訪問指導

新生児期の子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して、助言指導することを目的に、保健師、在宅助産師による訪問指導を行った。

- ・指導実数 7件
- ・指導延べ数 7件

エ こんにちは赤ちゃん事業

生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供に結びつけることを目的に、保健師、母子保健推進員が家庭訪問を実施した。

- ・訪問数 223件（保健師訪問数21件、母子保健推進員訪問数202件）

(5) 未熟児養育医療

出生時の体重が2,000g以下または生活力が薄弱な未熟児に対し、指定医療機関に委託し、養育に必要な医療の給付を行った。（県からの権限移譲により平成25年度開始）

- ・給付認定者数 34件

(6) 母子保健推進員活動

市が委嘱した母子保健推進員（大平地域16人）が、妊産婦や乳幼児等の家庭を訪問し、育児相談等を行った。活動を通し地域と行政のパイプ役を担った。

(単位：件)

活動内容	妊婦関係	乳幼児関係	健診等事業協力	計
件数(件)	212	202	175	589

また、会員相互の連携を図り、母子保健の向上に寄与するため栃木市母子保健推進員協議会を市全体で設置し、研修や交流を行った。（母子保健推進員総数142人）

3 特定健康診査等

メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査及び健診結果説明会、特定保健指

導等を行った。

(1) 特定健康診査後期高齢者健康診査及びヤング健診

- ・実施回数 16回
- ・実施場所 大平健康福祉センター

(2) 健診結果説明会

特定健診受診者を対象に、健診結果の正しい理解や自分の生活習慣を見直すきっかけ作りの機会として、集団指導及び個別相談を行った。

- ・実施回数 6回
- ・参加者数 39人

(3) 特定保健指導等事業

ア 特定保健指導

(7) 初回面接

区分	対象者数(人)	初回面接指導数(人)	初回面接実施率(%)
積極的支援	45	26	57.8
動機付け支援	106	70	66.0
合計	151	96	63.6

(イ) 中間評価 (初回面接から3か月後)

指導区分	指導数(人)	
	H27年初回面接実施者	H26年初回面接実施者
積極的支援	9	20
動機付け支援	42	24
合計	51	44

(ウ) 最終評価 (初回面接から6か月後)

指導区分	指導数(人)	
	H27年初回面接実施者	H26年初回面接実施者
積極的支援	2	23
動機付け支援	18	34
合計	20	57

(4) メタボ予防講座

講座名	実施回数(回)	参加者数(人)	内容
筋力アップですっきり教室	24	237	特定保健指導対象者に対してメタボ等の生活習慣病予防、筋力の向上に必要な運動習慣が身に付けられるような講話と運動の実践を行った。
知って納得！からだスッキリ教室(栄養)	5	14	特定保健指導対象者に対して、脂質、血糖、血圧に関する講話・試食の提供を行い、生

活習慣の見直しを行った。

#### 4 健康診査事業(健康増進法による健診)

健康増進法に基づき、健康診査（健康増進法による）、各種がん検診、肝炎ウイルス検査、骨粗しょう症健診及び歯周疾患検診（個別健診）等を行った。

- ・ 集団健診実施回数 16回
- ・ 集団健診実施会場 大平健康福祉センター

#### 5 健康づくり事業

##### (1) 健康教育

市民の健康づくりを推進するため各種の健康教育を行った。

教室名	実施回数 (回)	参加者数 (人)	内 容
知って納得！からだスッキリ 教室（運動）	12	138	特定健康診査受診者で、肥満等生活習慣病の予備軍の方を対象に、運動についての知識・実技指導を行った。
知って納得！からだスッキリ 教室（栄養）	7	107	特定健康診査受診者で、肥満等生活習慣病の予備軍の方を対象に、脂質、血糖、血圧に関する講話・試食の提供を行った。
健康あつぷ講座（運動編）	3	73	運動に関する情報提供、体験の機会を設け、無理なく日常生活に運動習慣を取り入れられるよう、運動についての知識・実技指導を行った
骨盤矯正でシェイプアップ教室	4	59	運動の知識や技術を習得する機会を設け、併せて女性に起こりうる健康問題に対しての知識を提供し、精神的・身体的に適応できるよう行った。
骨盤矯正でシェイプアップ教室（スタート編）	4	60	若年者が継続して運動に取り組めるように、好評であった骨盤矯正教室を再度開催し、自主グループへつなげた。
健康あつぷ講座（親子運動編）	1	33	子どもの能力アップのための運動の補助として成人にも参加してもらうことで、運動機会を増やし、今後の運動習慣の基礎が作れるよう、講話と運動の実践を行った。
健康あつぷ講座（口腔編）	1	31	歯周疾患予防の重要性について理解を深め関心を高めることを目的として、歯周疾患や生活習慣病との関係についての講演を行った。また、口腔ケアの方法を習得できるよう、みがき残しチェックやブラッシング等の実践的な指導を行った。

禁煙サポート教室	3	19	禁煙を希望する者に対し、自分に適した禁煙方法を理解し、不安を軽減することで禁煙の開始や継続の支援を個別に行った。 (参加者延べ数は大平・藤岡・岩舟地域合同数)
気になる禁煙講座	1	19	禁煙を希望する者に対し、禁煙方法について正しい知識を提供し禁煙の開始や継続支援を目的に行った。また喫煙者の家族についても禁煙の必要性や支援方法等について情報提供・相談の機会とした。
出前講座（生活習慣病予防等）	4	252	地域や団体を対象に集会所等に出向き、健康に関する知識の普及、啓発を行った。

(2) 健康相談・栄養相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行った。

- ・実施回数 5回
- ・延べ相談者数 5人
- ・内容 保健師・管理栄養士による個別相談

(3) 病態別栄養指導

医療機関と連携し、具体的な指導を行った。

- ・実施回数 2回
- ・延べ相談者数 2人
- ・内容 管理栄養士による個別指導

6 自殺予防対策事業

(1) こころの健康相談

こころの悩みの軽減及び自殺予防を図るため、カウンセラーによるうつ・ストレス・不眠等の心の健康問題の個別相談に応じた。

- ・実施回数 10回
- ・相談者数 25人

7 予防接種事業（数値は本庁健康増進課で一括計上）

(1) 定期予防接種

各種の定期予防接種対象者に個人通知により接種勧奨し、各協力医療機関において個別接種で実施した。

ヒブ感染症、小児の肺炎球菌感染症、BCG、四種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ）、三種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風）、急性灰白髄炎（ポリオ）、麻しん風しん（混合）、水痘、日本脳炎、二種混合（ジフテリア・破傷風）、ヒトパピローマウイルス感染症（子宮頸がん予防）、高齢者インフルエンザ、高齢者用肺炎球菌

(2) 任意予防接種

小児インフルエンザ、おたふくかぜ、B型肝炎、ロタウイルス感染症、水痘フォロー

ーアップ(4～9月)、高齢者用肺炎球菌、風しん予防対策事業を各協力医療機関において希望者に実施した。

## 8 地域保健対策推進事業

### (1) ふれあい健康福祉まつり事業

市民の健康意識の高揚を図るため、第22回ふれあい健康福祉まつりを実施した。

・実施日 5月24日(日)

・場 所 大平健康福祉センター、大平地域福祉センター(単位：人)

番号	実施内容	参加人数
1	食育コーナー	91
2	骨密度測定・結果説明及び指導	87
3	歯の健康相談・ブラッシング指導	39
4	血管年齢測定	114
5	献血	43
6	自殺予防普及啓発用ティッシュ等配布	200
参加者合計		574

### (2) 食生活改善地区組織活動

地域住民を対象に食育活動や食事バランスガイドの普及、食生活改善のための講習会等を行った。

・大平支部会員数 26人

・講習会開催回数 4回

・参加人数 114人

### (3) 自主グループ活動支援(リフレッシュ運動教室OB会・骨盤矯正でシェイプアップ教室OB会)

運動教室等修了者の自主グループ活動の支援を行った。

・会の運営のアドバイス

・体力測定、体組成測定

### (4) 地域看護

妊産婦、乳幼児、成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。

・訪問世帯数 149世帯

・保健師訪問指導 192人(延べ人数)

・内訳

(単位：人)

精神保健	75	生活習慣病	7	妊産婦	36	新生児	7
乳児	33	幼児	30	低体重児	3	その他	1

## 9 献血事業

人命を左右する血液の確保のため、栃木市献血会連絡協議会の協力のもと、献血事業を行った。

(単位：人)

実施日数	受付	200ml献血	400ml献血	成分献血	献血者計	不適格者
2日	67	7	49	-	56	11